

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28 29	入居者の方についてスタッフそれぞれの気付きをもとにミニミーティングを行うも、その後のアセスメントなどへの繋がりの不十分さがあり実践につなげられていない。	しっかりとアセスメントを行い実践に繋げる。	1)ミニミーティングの結果を記録に落とす。 2)ミニミーティングで決まったことについて期間を設け実施・評価を行う。	6か月
2	22	共有空間においてスタッフの発する声や音などで入居者を脅かしてしまっていることがある。	スタッフも環境の一部と捉え入居者の居心地のよい空間を目指す。	1)スタッフ一人ひとりが環境の一部であることを意識し徹底する。 2)虐待の芽チェックシートを活用しながら定期的に振り返る機会を設ける。 3)スタッフ間で気掛け合いその場面を振り返って何がいけなかったかを確認し合う。 4)入居者の方を脅かす状況の時には気付いたスタッフがすぐ指摘出来るチームになる。	12か月
3	21 35 53	特に遠方のご家族等への入居者の日頃の暮らしについての報告などが十分でないことがあり、不安に思われることがあるのではないかと考える。	ご家族へ入居者の日常の暮らし方や様子、表情などの報告や、今後のケア方針などの連絡を密に行うことで、ご家族が安心して、入居者を共に支えあう関係を深める。	・ご家族が来家の際には十分に近況報告を行い、また遠方のご家族へは転倒や体調面の変化などの報告に関わらず、電話や手紙での日頃の様子(調理やサロン活動での活躍の場)の報告を行う。 ・家族向け通信(ふぁみりえ通信)の定期的な発行を行い、日々の暮らしの様子や今後の活動予定、運営推進会議や他イベントへの参加のお声かけを行っていく。	6か月～

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54 55 56	主体者は常に入居者であるという認識のもと支援を行っているにも関わらず、居室、共有スペース・各小居間などの環境整備が行き届いていないことがある。入居者お一人おひとりにとって快適で居心地がよく、なおかつ安全面にも行き届いた支援が求められる。	・主体者は入居者の皆様であるという再認識のもと、入居者お一人おひとりが快適で安心して過ごせることが出来るよう各居室、共有スペースを見直す期間とし、皆様の状態、身体機能に合った環境作りに取り組んでいく。	・共有空間の整備(掃除・音・声・におい・照明)と空間の有効活用を常に意識していく。 ・身体機能や導線、活動範囲を見直し、お一人おひとりに合ったテーブルや椅子、ソファ、シャワーチェアを提供していく。 ・皆様の生活パターンやスタイルを再確認し、ケアプランにも結び付けたうえで日々の暮らしの場面に活かしていく。	6ヶ月
2	25 26 39 40	暮らしの主体は入居者の皆さんにある。入居者の皆さんの人生史や生活歴、趣味・嗜好・得意な事を日々の暮らしに活かしていき、入居者の皆さんにとって役割と楽しみ・喜び(快)のある、日常生活をおくれるようま、暮らしの工夫と支援、取組みが求められる。	・入居者の皆さんには、それぞれ人生史や生活歴・生活習慣、趣味・嗜好があり、得意分野(出番・役割)がある。その事をよく知り、働き掛けることを行い、皆さんが主体的に選べるような選択肢を増やし、日々の暮らしの場面場面の充実につなげていく。	・入居者の皆さんの人生史や生活歴・生活習慣、趣味や嗜好、得意分野(出番・役割)を再確認するとともに新たに情報収集する。 ・課題と目標に基づき、入居者の皆さんのケアプランを見直し、日々の暮らしの場面に活かす。 ・「声掛け」一つにも、よく考え工夫を行い、また、主体は入居者の皆さんである事を忘れずに個別性を重視・尊重した関わりを実践(場面と言動)する。 ・楽しみにつながる行事をご本人・ご家族と一緒に計画・実践していく。	12ヶ月
3	21 35 53	特に遠方のご家族等へ入居者の日頃の暮らしについての報告などが十分でないことがあり、不安に思われることがあるのではないかと考える。	ご家族へ入居者の日常の暮らし方や様子、表情などの報告や、今後のケア方針などの連絡を密に行うことで、ご家族が安心して、入居者を共に支えあう関係を深める。	・ご家族が来家の際には十分に近況報告を行い、また遠方のご家族へは転倒や体調面の変化などの報告に関わらず、電話や手紙での日頃の様子(調理やサロン活動での活躍の場)の報告を行う。 ・家族向け通信(ふぁみりえ通信)の定期的な発行を行い、日々の暮らしの様子や今後の活動予定、運営推進会議や他イベントへの参加のお声かけを行っていく。	6か月～

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 7	直接的な身体拘束や虐待は行っていないが、日々のお声掛けの中で何気なく出てしまう言葉にはっとしたり(自分で気付いたり)また、気付けないことがある。	常に入居者に対して尊敬の念を抱き、入居者やご家族、一緒に働く職員が不快に思わないような言葉遣いや態度など、普段からの立居振る舞いに気掛けることができる。	虐待の芽チェックリストを活用し、定期的にユニット会議で話し合いの場を持ち、身体拘束や虐待をなくす為の意識を高めることで言葉遣いや丁寧な入居者への対応へ繋げていく。	6ヶ月～
2	47	17:30以降は(遅出と夜勤者の2人勤務体制になる為)状況によっては入浴希望の対応ができない事がある。また、入浴をあまり好まれない入居者や、同姓介助が必要な入居者においてはカンファなどで検討を行っているが、入浴対応が滞る現状がある。	出来るだけ入居者の希望通りに入浴することができ、入浴を好まれない入居者においても、無理強いすることなく身体を清潔に保つことができる。	日々の生活の基本的な流れをアセスメントシートの更新をして再確認し、入浴が可能な時間帯の確保を行う。ケアカンファにてお声かけの工夫、成功例を詳細に記録することで情報共有を図る。清拭やドライシャンプー、ベッド上での洗髪などの対応や、入浴対応を他ユニットの同性職員に依頼することの検討を行う。	6ヶ月～
3	41	食後の食べこぼしやそれによる衣服や床の汚れ、また起床ケアでの髭剃りなどに配慮にかけ、十分に行えていない事がある。	衣服や整髪、髭剃り、爪切りなど入居者の身だしなみに十分に配慮し、対応していく。	入居者の身だしなみの大切さについて、今一度日頃や会議で話し合う場を多く設ける。食事介助への移行の見極めやタオル、手拭おしぼりの使用、食器配置の工夫など、食事提供の検討。食後、衣服を確認してからソファなどへの移動を行う。巻き爪などで切ることが難しい場合は看護師に相談、対応していただく。	6ヶ月～
3	21 35 53	特に遠方のご家族等への入居者の日頃の暮らしについての報告などが十分でないことがあり、不安に思われることがあるのではないかと考える。	ご家族へ入居者の日常の暮らし方や様子、表情などの報告や、今後のケア方針などの連絡を密に行うことで、ご家族が安心して、入居者を共に支えあう関係を深める。	・ご家族が来家の際には十分に近況報告を行い、また遠方のご家族へは転倒や体調面の変化などの報告に関わらず、電話や手紙での日頃の様子(調理やサロン活動での活躍の場)の報告を行う。 ・家族向け通信(ふぁみりえ通信)の定期的な発行を行い、日々の暮らしの様子や今後の活動予定、運営推進会議や他イベントへの参加のお声かけを行っていく。	6か月～

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。